

令和 3 年度
福井県消費生活センター
試買テスト結果報告書

共同実施者：福井県消費生活研究会

対 象 商 品：非接触型体温計

非接触型体温計（福井県消費生活研究会との共同テスト）

1 目的

新型コロナウイルス感染症の発生以降、体温測定を日常的に実施する機会が増加している。従来、体温測定には脇下などで測定する接触型体温計が用いられていたが、額などから放射される赤外線量を測定する非接触型体温計は、短時間で測定できるという特長から、近年は一般家庭でも使用されることが多くなっている。一方で、消費者から「非接触型体温計で測定すると、接触型体温計より高い（または低い）値が表示される」という声を聞く。

そこで、福井県消費生活研究会（以下、「研究会」という。）と共同で、非接触型体温計の表示や性能、使い勝手を比較調査したため、その結果を情報提供する。

○人の体温について

体温は、24時間単位でリズム変化している。気温や運動、食事、睡眠、感情の変化などによっても変動する。また、体温は体の部位によって異なり、手足や皮膚表面では低くて周囲の温度の影響を受けるが、体の内部では高く安定している。

○体温計と温度計

体温計は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下、「薬機法」という。）で規定される「管理医療機器（クラスⅡ）」に該当し、製造・販売について同法の規制を受ける。一方、温度計は薬機法の対象外である。

○体温計の測定方法

- ・接 触 型：検温部を測定部位に接触させて、その部位の体温を直接測定する。
- ・非接触型：測定部位から放射される赤外線量を測定して、体温に換算する。

○温度計の測定方法

- ・接 触 型：検温部を測定部位に接触させて、その部位の温度を直接測定する。
- ・非接触型：測定部位から放射される赤外線量を測定して、表面温度として表示する。

○電子体温計の表示方法

- ・実測式：測定部位のその時の温度を測定して表示する。
- ・予測式：測定開始からの温度変化をもとに、平衡温（測定部位が体の内部と同程度の温度に達した状態）を分析・演算した値を表示する。

【参考ホームページ】

- ・テルモ体温研究所「知っておきたい体温の話」「体温ってなあに？正しい体温の測り方」
<https://www.terumo-taion.jp/activity/knowledge/article01.html>
<https://www.terumo-taion.jp/activity/knowledge/article02.html>
- ・オムロンヘルスケア株式会社「体温計について」
<https://www.healthcare.omron.co.jp/product/mc/mc-summary.html>
- ・シチズン・システムズ株式会社「健康豆知識 体温編 体温について」
https://www.citizen-systems.co.jp/health/column/knowledge/temperature/temperature_01.html

2 対象品

令和3年8月、通信販売により非接触型体温計3銘柄（A～C）と、体温測定モードを有する非接触型温度計1銘柄（E）を購入した。また、令和2年度に当センター備品として導入した非接触型体温計1銘柄（D）を加え、計5銘柄を対象品とした。なお、A～Cの銘柄は、同年7月に福井市内の小売店舗にて販売されていることを確認している。



図1 テスト対象品（左からA～E）

3 項目および方法

（1）表示

薬機法に基づき、適正な表示がなされているかを調べた。また、体温測定に係る機能および形状等の表示として、測定部位、換算方式、測定距離、測定温度範囲、測定精度、測定記録数、自動電源オフ機能の有無、使用環境、保管環境、電源、本体寸法、本体重量の11項目と、正しく測定するための注意事項等についても調べた。

（2）実体温と対象品測定値との比較検証

令和3年9～10月、研究会の会員をモニターとして、当センター商品テスト室にて以下のとおり比較検証実験を実施した。なお、対象品5銘柄および実体温測定用の電子体温計（シチズン製 CTE507）はすべて、事前に商品テスト室内に設置し、室温に慣らしておいた。

実施時の最高気温、商品テスト室の室温、参加モニター数は表1のとおりである。

表1 実体温と対象品測定値との比較検証実施時の環境等

実施年月	令和3年9月	令和3年10月
最高気温	26.8℃	29.5℃
商品テスト室の室温	約23℃	約23℃
参加モニター数	5名	6名

① 実体温の測定

商品テスト室にて、モニターに椅子に座って15分間安静に過ごしたあと、そのままの状態で電子体温計を用いて脇で約10分間測定を行ってもらった。得られた値をそのモニターの実体温とした。

② 対象品による測定

実体温測定後、引き続き、商品テスト室の椅子に座った状態のモニターに対して、対象品ごとに指定された測定部位および測定距離にて対象品による測定を行った。

(3) モニターが低温環境または高温環境にいた場合の比較検証

令和3年9～10月、研究会の会員をモニターとして、以下のとおり比較検証実験を実施した。なお、対象品5銘柄はすべて、事前に商品テスト室内に設置し、室温に慣らしておいた。また、低温・高温環境の再現には、商品テスト室内のプレハブ型恒温恒湿室（三洋電機製 MCU-200CP、図2）を使用した。

① モニターに、表2の条件に設定したプレハブ型恒温恒湿室の中で、椅子に座って5分間安静に過ごしてもらった。なお、低温環境の検証時は、モニターには共通のダウンコートを着用してもらった。

② 商品テスト室に移動して椅子に座った状態のモニターに対して、移動した直後、5分後および10分後に、対象品ごとに指定された測定部位および測定距離にて対象品による測定を行った。なお、低温環境の検証時は、モニターには商品テスト室に移動後すぐにダウンコートを脱衣してもらった。

表2 プレハブ型恒温恒湿室の設定条件

実施年月	令和3年9月	令和3年10月
再現条件	低温環境	高温環境
設定温度	6.7℃	32.2℃
設定湿度	82%RH	73%RH
備考	気象庁の平年値データに基づく福井県（観測地点：福井市）の真冬（1月）または真夏（8月）の温度・湿度を参考とした。	



図2 プレハブ型恒温恒湿室の外観

(4) 使用評価

令和3年12月、研究会の会員6名が2名1組となり、互いをモニターとして対象品による測定を行い、本体の持ちやすさ(重さ、形状)、ボタン操作のしやすさ(配置、大きさ、操作音)、連続測定のしやすさ、電池交換のしやすさ、説明書の分かりやすさ、表示の見やすさ(液晶の文字やマーク)、外箱の表示の分かりやすさ、総合評価の8項目について、1～5点の5段階で判定した。それぞれの平均値を100点満点に換算した。

4 結果

(1) 表示(別表1、別表2、別表3)

対象品の表示内容等は別表1、別表2、別表3のとおりである。

体温計であるA～Dの4銘柄は、いずれも薬機法に基づく表示がなされており、適正であった。また、いずれも測定値を舌下温度に換算して表示する方式であった。一般的に舌下温度は腋下温度よりも高い値になることから、この方式の非接触型体温計を用いて測定する場合は注意が必要である。

正しく測定するための注意事項等については、温度計であるEを含めた5銘柄すべてで以下の内容が表示されていた。

- ・商品測定する部屋の温度に慣らしてから使用する
- ・冷暖房器の近く(測定部位が温まったり冷えたりした状態)で測定しない
- ・飲食や運動、入浴などの直後に測定しない

非接触型か接触型かに限らず、体温を正確に測定するには、取扱説明書をよく読み、その内容に従うことが重要である。

(2) 実体温と対象品測定値との比較検証(別表4)

室温での電子体温計による実体温測定および対象品による測定の結果は別表4のとおりである。実体温と対象品測定値との温度差の平均(絶対値)は、体温計4銘柄では0.27～0.58℃、温度計1銘柄では0.32～0.56℃と同程度のバラつきであり、今回の調査では、種類の違いによる差は見られなかった。

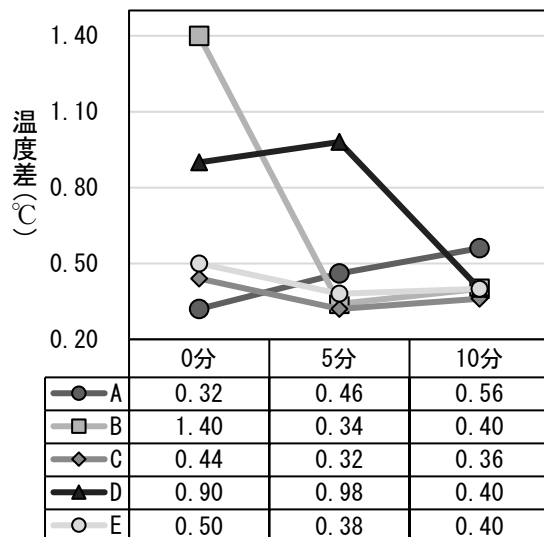
(3) モニターが低温環境または高温環境にいた場合の比較検証(図3、別表5、別表6)

モニターが低温環境または高温環境で5分間過ごしたあと、室温に移動した直後・5分後・10分後にそれぞれ対象品で測定した結果は、図3、別表5および別表6のとおりである。

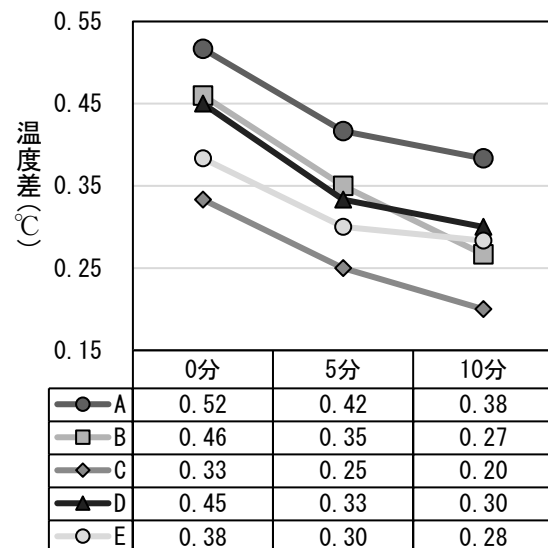
低温環境で過ごした場合、室温に移動した直後は、体温計のうち2銘柄で測定値が測定温度範囲より低いため測定不可となったが、残りの2銘柄および温度計1銘柄では実体温と同程度の測定値が得られた。また、室温に移動してから10分経過後は、すべての銘柄で実体温と同程度の測定値が得られた。

高温環境で過ごした場合は、すべての銘柄で、室温に移動した直後は実体温よりも測定値の方が高い傾向であり、時間経過に伴って実体温と測定値との温度差は小さくなった。

これらのことから、屋外から室内へ移動した時など、周囲の温度が大きく変動した状態で体温を測定する場合は、10分程度安静に過ごす必要があると確認できた。



(a) モニターが低温環境にいた場合



(b) モニターが高温環境にいた場合

図3 実体温と対象品測定値との温度差推移

(5) 使用評価 (図4、別表7)

結果は図4および別表7のとおりである。総合評価の評点は63～97点で、97点であった銘柄は、8項目中6項目で最高評点となった。また、電池交換のしやすさ(40～97点)、外箱の表示(50～97点)、ボタン操作のしやすさ(53～93点)の評点が割れており、電池交換時にドライバーなどの道具が別途必要なもの、外箱の表示が少ないものや英語表記のみのもの、本体裏側にボタンがあり誤操作しやすいものについて、それぞれ評価が低くなった。

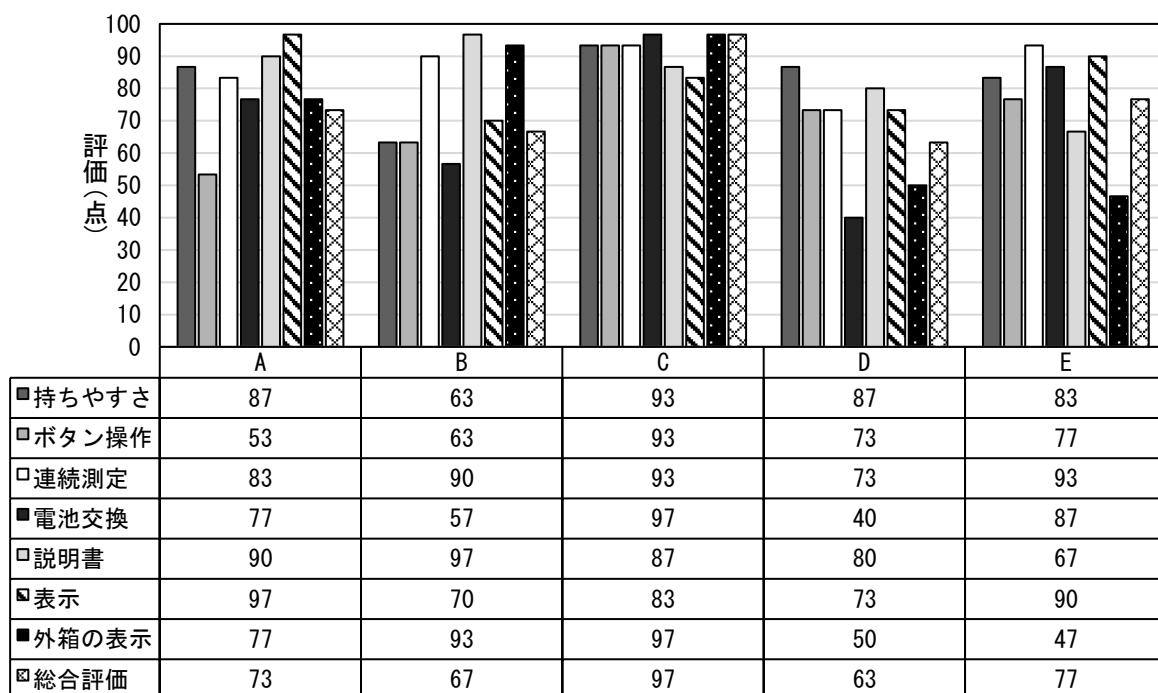


図4 使用評価結果

5 まとめ

- (1) 今回調査した対象品 5 銘柄のうち、体温計 4 銘柄はすべて、薬機法に基づく表示がなされており、適正であった。
- (2) 正しく測定するための注意事項としては、商品を測定する部屋の温度に慣らしてから使用すること、冷暖房器の近く（測定部位が温まったり冷えたりした状態）で測定しないこと、飲食や運動、入浴などの直後に測定しないことなどがすべての銘柄で表示されていた。
- (3) 実体温と対象品測定値との温度差を比較したところ、今回の調査では、体温計と温度計の種類の違いによる差は見られず、実体温との温度差は同程度であった。
- (4) モニターが低温環境や高温環境にいた場合の比較検証結果から、屋外から室内へ移動した時など、周囲の温度が大きく変動した状態で体温を測定する場合、10 分程度安静に過ごす必要があることを確認した。

6 消費者へのアドバイス

(1) 体温計による測定

非接触型か接触型かに限らず、体温計で体温を正確に測定するためには、取扱説明書をよく読み、その内容に従うことが重要である。また、同じ時間帯・場所・体温計で定期的に測定を行い、自身の「平熱」を知ること、発熱しているかどうかを正しく判断しやすくなる。

(2) 温度計による測定

非接触型温度計で測定した結果は体温ではなく表面温度であるため、体温の目安値として使用する必要がある。電子体温計で測定した結果との差を確認したうえで、使用することが望ましい。

別表 1 表示調査結果（規定事項）

	A	B	C	D	E (参考品)
製造販売業者の氏名または名称および住所	(製造販売元) (株)ドリテック 埼玉県越谷市 流通団地 2-3-9	(製造販売業者) (株)カスタム 東京都千代田区 外神田三丁目 6 番 12 号	(製造販売元) (株)タニタ秋田 秋田県大仙市 堀見内字 下田茂木添 28-1	(製造販売元) オムロンヘルス ケア(株) 京都府向日市 寺戸町九ノ坪 53 番地	(輸入元) 日進医療器(株) 大阪市中央区 道修町 1-4-2
名称	(販売名) 非接触体温計 T0-401 (一般的名称) 皮膚赤外線体温計	(販売名) 非接触式体温計ミニ (一般的名称) 皮膚赤外線体温計	(販売名) タニタ非接触体温計 BT-54X (一般的名称) 皮膚赤外線体温計	(販売名) オムロン 皮膚赤外線体温計 MC-720 (一般的名称) 皮膚赤外線体温計	(販売名) GENIAL 非接触型温度計 T81
製造番号または製造記号	21B03973	SN : E011F091157	LOT : 1021	20200530RF	記載なし*
医療機器分類	管理医療機器	管理医療機器	管理医療機器	管理医療機器	記載なし*
使用方法その他 使用および取扱 い上の必要な注 意	○	○	○	○	○
認証番号	229AKBZX00002000	227AFBZX00039000	301AFBZX00069000	302AHBZX00008000	記載なし*

※銘柄 E は温度計であり、薬機法の対象外であるため、記載義務はない。

別表 2 表示調査結果（体温測定に係る機能・形状等）

	A	B	C	D	E (参考品)
測定部位	こめかみ	額の中央	額	額の中心	額
換算方式	舌下温度に換算	舌下温度に換算	舌下温度に換算	舌下温度に換算	
測定距離	2～3 cm	1～3 cm	0.5～3 cm	1～3 cm	5 cm 未満
測定温度範囲	34.0～42.9℃	34.0～42.2℃	34.0～43.0℃	34.0～42.2℃	32.0～42.9℃
測定精度	±0.3℃ (35.5℃未満または 42.0℃超過) ±0.2℃ (35.5℃以上 42.0℃ 以下)	±0.3℃	±0.2℃ (36.0～39.0℃) ±0.3℃ (上記以外)	±0.2℃ (36.0～39.0℃) ±0.3℃ (上記以外)	±0.2℃ (35～42℃範囲内) ±0.3℃ (35～42℃範囲外)
測定記録数	直近 24 回	直近 25 回	直近 30 回	直近 25 回	直近 32 回
自動電源オフ 機能の有無	あり (約 1 分後)	なし (約 1 分後パワーセ ーブモードに移行)	あり (約 30 秒後)	なし (常時オン)	あり (約 1 分後)
使用環境	10～40℃ 30～85%RH	10.0～40.0℃ 15～85%RH (結露なきこと)	16～40℃ 95%RH 以下 (結露なきこと)	10～40℃ 15～85%RH (結露なきこと)	15～40℃ 95%RH 未満
保管環境	-10～60℃ 25～90%RH	-20～50℃ 85%RH 以下 (結露なきこと)	-20～50℃ 95%RH 以下 (結露なきこと)	-20～60℃ 95%RH 以下 (結露なきこと)	-20～55℃ 10～93%RH
電源	単 4 形アルカリ 乾電池 (2 本)	リチウムコイン 電池 (1 個) (電池部の開閉には クリップ等が必要)	単 4 形アルカリ 乾電池 (2 本)	リチウムコイン 電池 (1 個) (電池部の開閉には ドライバー必要)	単 3 形アルカリ 乾電池 (2 本)
本体寸法 (幅×高さ×奥行)	約 40×150×51mm	約 46.4×80.1× 37.7mm	約 49×129×39mm	約 45×155×39mm	約 48×150×105mm
本体重量	約 51g (電池含まず)	約 47g (電池含み、センサ ー保護カバー除く)	約 90g (電池含む)	約 90g (電池含む)	約 125g (電池含まず)

別表 3 表示調査結果（注意事項等）

対象品	注意事項等（正しく測定するための内容を抜粋）																						
A	・ 本体を測定する部屋の温度に 30 分程度なじませてからご使用ください。保管場所と温度差があると正しく測定できない場合があります。 ・ 起床直後、スポーツ、食事、外出、入浴などの直後では正しい体温となりません。部屋の温度に 30 分くらい体を慣らしてからご使用ください。 ・ 使用する前に、センサー部が清潔であることを確認してください。 ・ センサーが当たる場所によって体温は若干異なります。 ・ 体調が以下のような場合にも、正しく測定できないことがあるので注意してください。 { 興奮状態・肌が紅潮していたり脈拍が早いとき・皮膚がかぶれているとき 虚脱症・血管収縮薬摂取時など ・ 帰宅直後や水枕・氷嚢などを当てていた時など、体が冷えている場合は、皮膚が温まってから測定してください。また厚着や帽子などを着用していると正しく測定できない場合がありますので、厚着や帽子は脱いで落ち着いてから測定してください。 ・ ヘアードライヤーを使用していた場合や温風が直接当たっていると正しく測定できないことがあるのでこめかみの温度が安定してから測定してください。また、こめかみに直射日光が当たっていた場合は、カーテンなどで直射日光を遮り、30 分程度室温に馴染んでから測定してください。 ・ こめかみが汗や水分で濡れていたり、化粧をしていると測定値が低くなる場合がありますので、汗、水分、化粧品は拭き取ってから測定してください。 ・ 髪の毛やメガネなどでこめかみが隠れていると、正確に測れません。メガネなどははずして測定してください。																						
B	< 検温結果が低く出るとき > <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ おでこの距離が離れている</td><td style="width: 50%;">⇒ 1～3 cm の距離で測る</td></tr> <tr> <td>・ 先端部がおでこに向いていない</td><td>⇒ 測定センサー部をおでこに向ける</td></tr> <tr> <td>・ 暑い場所から涼しい場所に本機を移動させた</td><td>⇒ 測定環境温度に 20～30 分馴染ませてから測る</td></tr> <tr> <td>・ 被測定者が寒い屋外から温かい屋内に移動した</td><td>⇒ 測定環境温度で 20～30 分たってから測る</td></tr> <tr> <td>・ おでこに風が当たり冷えている</td><td>⇒ 風を避け、しばらくしてから測る</td></tr> <tr> <td>・ おでこに汗をかいている</td><td>⇒ 汗が引いて、しばらくしてから測る</td></tr> <tr> <td>・ 前髪がおでこにかかっている</td><td>⇒ 髪をあげてから測る</td></tr> <tr> <td>・ 眼鏡をかけている</td><td>⇒ 眼鏡を外して測る</td></tr> </table> ・ 検温する方の体質、加齢等の影響で、移動や天候などで気温が変化した時におでこの表面温度が安定するまでに時間がかかる場合があります。 ・ 検温する場所で 20～30 分程度安静にしてから測定してください。ただし、気温の低い環境ではおでこの表面温度が低いまま測定できない場合があります。（個人差があります） < 検温結果が高くなる時 > <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ 陽に当たりおでこが熱くなっている</td><td style="width: 50%;">⇒ しばらくしてから測る</td></tr> <tr> <td>・ 寒い場所から暖かい場所に本機を移動させた</td><td>⇒ 測定環境温度に 20～30 分馴染ませてから測る</td></tr> <tr> <td>・ 被測定者が暑い屋外から涼しい屋内に移動した</td><td>⇒ 測定環境温度で 20～30 分たってから測る</td></tr> </table> ・ この体温計はおでこの表面温度を口内（舌下）温度に換算して表示するため、一般的に脇下体温計の温度よりも高くなります。	・ おでこの距離が離れている	⇒ 1～3 cm の距離で測る	・ 先端部がおでこに向いていない	⇒ 測定センサー部をおでこに向ける	・ 暑い場所から涼しい場所に本機を移動させた	⇒ 測定環境温度に 20～30 分馴染ませてから測る	・ 被測定者が寒い屋外から温かい屋内に移動した	⇒ 測定環境温度で 20～30 分たってから測る	・ おでこに風が当たり冷えている	⇒ 風を避け、しばらくしてから測る	・ おでこに汗をかいている	⇒ 汗が引いて、しばらくしてから測る	・ 前髪がおでこにかかっている	⇒ 髪をあげてから測る	・ 眼鏡をかけている	⇒ 眼鏡を外して測る	・ 陽に当たりおでこが熱くなっている	⇒ しばらくしてから測る	・ 寒い場所から暖かい場所に本機を移動させた	⇒ 測定環境温度に 20～30 分馴染ませてから測る	・ 被測定者が暑い屋外から涼しい屋内に移動した	⇒ 測定環境温度で 20～30 分たってから測る
・ おでこの距離が離れている	⇒ 1～3 cm の距離で測る																						
・ 先端部がおでこに向いていない	⇒ 測定センサー部をおでこに向ける																						
・ 暑い場所から涼しい場所に本機を移動させた	⇒ 測定環境温度に 20～30 分馴染ませてから測る																						
・ 被測定者が寒い屋外から温かい屋内に移動した	⇒ 測定環境温度で 20～30 分たってから測る																						
・ おでこに風が当たり冷えている	⇒ 風を避け、しばらくしてから測る																						
・ おでこに汗をかいている	⇒ 汗が引いて、しばらくしてから測る																						
・ 前髪がおでこにかかっている	⇒ 髪をあげてから測る																						
・ 眼鏡をかけている	⇒ 眼鏡を外して測る																						
・ 陽に当たりおでこが熱くなっている	⇒ しばらくしてから測る																						
・ 寒い場所から暖かい場所に本機を移動させた	⇒ 測定環境温度に 20～30 分馴染ませてから測る																						
・ 被測定者が暑い屋外から涼しい屋内に移動した	⇒ 測定環境温度で 20～30 分たってから測る																						
C	・ 測定対象からの赤外線を遮るものは、誤差の原因になります。 ・ 額の状態が通常時と異なる場合は、正確に舌下温度に換算できないおそれがあります。 ・ 髪の毛、汗や化粧などが、測定する額表面を覆わないようにしてください。 ・ 屋外、直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所での測定は避けてください。 ・ 外出、運動、入浴の後 30 分以内の測定は避け、測定前の 30 分間は使用環境の温度（16～40℃）にとどまってください。 ・ 本器をあらかじめ 30 分ほど使用環境の温度になじませてください。 ・ 結果を比較する際には、同じ条件（部位・装置・環境）で測定した結果と比較してください。わきの下などほかの部位や、電子体温計などほかの方法で測定した体温とは、測定結果が異なる場合があります。 ・ 測定時、本器が額に触れないようにしてください。																						

別表 3 表示調査結果（正確な体温測定のための注意事項等）

対象品	正確な体温測定のための注意事項等（抜粋）
D	・本製品の保管場所と測定する場所で温度差がある場合は、使用場所に 30 分以上放置してから使用してください。 ・体温を測るときは、額に汗や化粧品、傷などがない清潔な状態であることを確認してください。 ・体温を測るときは、直近 30 分以内に入浴や運動をしていないこと、安定した環境で 5 分以上経過していることを確認してください。 ・体温を測るとき、本体を握りしめないようにしてください。 ・額以外の部位で体温を測らないでください。 ・額が冷えている場合は、温まるまで待ってから測定してください。氷嚢などを使用した場合や、冬場に屋外から入った直後などは、測定結果が低く表示されることがあります。 ・ブロープレズが常に清潔で破損していないことを確認してください。 ・測定時、本製品と額の間に髪などの遮蔽物が入らないようにしてください。 ・本製品を寒い場所に保管していた場合、常温の場所に持ち込んですぐに温度を測ると、測定値が高くなる場合があります。使用する場所で 30 分ほど放置してから温度を測ってください。温度を測定する部屋の中で保管することをお勧めします。 ・乳幼児などの場合、泣いた直後に体温を測ると、正しい測定値が表示されないことがあります。 ・汗をかいた状態で体温を測ると、正しい測定値が表示されないことがあります。 ・寒い時、屋外に出た直後に体温を測ると、正しい測定値が表示されないことがあります。額が温まるまで待ってください。 ・額以外の部位で体温を測ると、正しい測定値が表示されません。髪の毛の生え際などではなく、額の中心で測定してください。
E	・保管場所と測定場所の温度差があるときは、本体を室温（測定場所）に 30 分ほどなじませてから測定してください。正しい測定結果が得られなくなる恐れがあります。 ・測定器精度への影響を避けるため、測定時に冷暖房器の近くで測定しないでください。 ・測定精度に影響する場合がありますため、測定前または測定中の飲食や運動はしないでください。また測定中の発汗を避けてください。

別表 4 室温での測定結果

実施年月	令和 3 年 9 月					令和 3 年 1 0 月				
対象品	モニター	実体温 (℃) 〈a〉	測定値 (℃) 〈b〉	差 〈b-a〉	差の平均 (絶対値)	モニター	実体温 (℃) 〈a〉	測定値 (℃) 〈b〉	差 〈b-a〉	差の平均 (絶対値)
A	No. 1	36.1	36.4	0.3	0.54	No. 1	36.4	36.7	0.3	0.42
	No. 2	36.1	36.6	0.5		No. 2	36.2	36.7	0.5	
	No. 3	35.9	36.5	0.6						
	No. 4	36.6	36.2	-0.4		No. 4	36.9	36.9	0.0	
	No. 5	35.2	36.1	0.9						
						No. 6	36.1	36.8	0.7	
						No. 7	36.3	36.8	0.5	
						No. 8	36.2	36.7	0.5	
B	No. 1	36.1	36.3	0.2	0.58	No. 1	36.4	36.3	-0.1	0.32
	No. 2	36.1	36.3	0.2		No. 2	36.2	36.5	0.3	
	No. 3	35.9	36.5	0.6						
	No. 4	36.6	36.0	-0.6		No. 4	36.9	36.6	-0.3	
	No. 5	35.2	36.5	1.3						
						No. 6	36.1	36.4	0.3	
						No. 7	36.3	36.5	0.2	
						No. 8	36.2	36.9	0.7	
C	No. 1	36.1	36.3	0.2	0.50	No. 1	36.4	36.3	-0.1	0.27
	No. 2	36.1	36.4	0.3		No. 2	36.2	36.5	0.3	
	No. 3	35.9	36.4	0.5						
	No. 4	36.6	36.3	-0.3		No. 4	36.9	36.6	-0.3	
	No. 5	35.2	36.4	1.2						
						No. 6	36.1	36.3	0.2	
						No. 7	36.3	36.6	0.3	
						No. 8	36.2	36.6	0.4	
D	No. 1	36.1	36.1	0.0	0.54	No. 1	36.4	35.8	-0.6	0.37
	No. 2	36.1	36.2	0.1		No. 2	36.2	36.5	0.3	
	No. 3	35.9	36.5	0.6						
	No. 4	36.6	36.1	-0.5		No. 4	36.9	36.6	-0.3	
	No. 5	35.2	36.7	1.5						
						No. 6	36.1	36.2	0.1	
						No. 7	36.3	36.5	0.2	
						No. 8	36.2	36.9	0.7	
E	No. 1	36.1	36.3	0.2	0.56	No. 1	36.4	36.2	-0.2	0.32
	No. 2	36.1	36.4	0.3		No. 2	36.2	36.5	0.3	
	No. 3	35.9	36.4	0.5						
	No. 4	36.6	36.2	-0.4		No. 4	36.9	36.6	-0.3	
	No. 5	35.2	36.6	1.4						
						No. 6	36.1	36.3	0.2	
						No. 7	36.3	36.5	0.2	
						No. 8	36.2	36.9	0.7	

別表5 モニターが低温環境にいた場合の測定結果

対象品	モニター	実体温(℃) <a>	時間経過に伴う測定値(℃)					
			0 分後 <c>	差 <c-a>	5 分後 <d>	差 <d-a>	10 分後 <e>	差 <e-a>
A	No. 1	36.1	36.1	0.0	36.3	0.2	36.5	0.4
	No. 2	36.1	36.2	0.1	36.3	0.2	36.5	0.4
	No. 3	35.9	36.0	0.1	36.4	0.5	36.5	0.6
	No. 4	36.6	36.1	-0.5	36.4	-0.2	36.5	-0.1
	No. 5	35.2	36.1	0.9	36.4	1.2	36.5	1.3
	差の平均(絶対値)		0.32		0.46		0.56	
B	No. 1	36.1	×※	—	36.0	-0.1	36.2	0.1
	No. 2	36.1	34.7	-1.4	36.1	0.0	36.2	0.1
	No. 3	35.9	34.2	-1.7	36.0	0.1	36.2	0.3
	No. 4	36.6	35.1	-1.5	36.3	-0.3	36.5	-0.1
	No. 5	35.2	36.2	1.0	36.4	1.2	36.6	1.4
	差の平均(絶対値)		1.40		0.34		0.40	
C	No. 1	36.1	35.8	-0.3	36.1	0.0	36.2	0.1
	No. 2	36.1	35.7	-0.4	36.0	-0.1	36.1	0.0
	No. 3	35.9	35.7	-0.2	36.2	0.3	36.3	0.4
	No. 4	36.6	35.9	-0.7	36.3	-0.3	36.4	-0.2
	No. 5	35.2	35.8	0.6	36.1	0.9	36.3	1.1
	差の平均(絶対値)		0.44		0.32		0.36	
D	No. 1	36.1	×※	—	34.0	-2.1	35.8	-0.3
	No. 2	36.1	×※	—	35.3	-0.8	36.1	0.0
	No. 3	35.9	×※	—	35.5	-0.4	35.8	-0.1
	No. 4	36.6	×※	—	36.3	-0.3	36.5	-0.1
	No. 5	35.2	36.1	0.9	36.5	1.3	36.7	1.5
	差の平均(絶対値)		0.9		0.98		0.40	
E	No. 1	36.1	35.7	-0.4	36.0	-0.1	36.2	0.1
	No. 2	36.1	35.8	-0.3	36.1	0.0	36.2	0.1
	No. 3	35.9	35.7	-0.2	36.2	0.3	36.3	0.4
	No. 4	36.6	36.0	-0.6	36.3	-0.3	36.5	-0.1
	No. 5	35.2	36.2	1.0	36.4	1.2	36.5	1.3
	差の平均(絶対値)		0.50		0.38		0.40	

※いずれの銘柄も液晶に「Lo (=測定値が34℃より低い)」と表示され測定不可

別表6 モニターが高温環境にいた場合の測定結果

対象品	モニター	実体温(℃) 〈a〉	時間経過に伴う測定値(℃)					
			0 分後 〈c〉	差 〈c-a〉	5 分後 〈d〉	差 〈d-a〉	10 分後 〈e〉	差 〈e-a〉
A	No. 1	36.4	37.0	0.6	36.5	0.1	36.6	0.2
	No. 2	36.2	36.6	0.4	36.6	0.4	36.6	0.4
	No. 4	36.9	36.9	0.0	36.8	-0.1	36.6	-0.3
	No. 6	36.1	37.0	0.9	36.8	0.7	36.7	0.6
	No. 7	36.3	36.8	0.5	37.0	0.7	36.7	0.4
	No. 8	36.2	36.9	0.7	36.7	0.5	36.6	0.4
	差の平均(絶対値)		0.52		0.42		0.38	
B	No. 1	36.4	36.7	0.3	36.5	0.1	36.4	0.0
	No. 2	36.2	36.1	-0.1	36.5	0.3	36.5	0.3
	No. 4	36.9	37.1	0.2	36.6	-0.3	36.6	-0.3
	No. 6	36.1	36.8	0.7	36.6	0.5	36.5	0.4
	No. 7	36.3	36.8	0.5	36.6	0.3	36.4	0.1
	No. 8	36.2	37.0	0.8	36.8	0.6	36.7	0.5
	差の平均(絶対値)		0.46		0.35		0.27	
C	No. 1	36.4	36.5	0.1	36.3	-0.1	36.2	-0.2
	No. 2	36.2	36.3	0.1	36.4	0.2	36.3	0.1
	No. 4	36.9	37.1	0.2	36.6	-0.3	36.6	-0.3
	No. 6	36.1	36.7	0.6	36.3	0.2	36.3	0.2
	No. 7	36.3	36.8	0.5	36.7	0.4	36.5	0.2
	No. 8	36.2	36.7	0.5	36.5	0.3	36.4	0.2
	差の平均(絶対値)		0.33		0.25		0.20	
D	No. 1	36.4	36.7	0.3	36.4	0.0	36.3	-0.1
	No. 2	36.2	36.0	-0.2	36.5	0.3	36.5	0.3
	No. 4	36.9	36.9	0.0	36.6	-0.3	36.7	-0.2
	No. 6	36.1	36.9	0.8	36.5	0.4	36.5	0.4
	No. 7	36.3	36.9	0.6	36.7	0.4	36.5	0.2
	No. 8	36.2	37.0	0.8	36.8	0.6	36.8	0.6
	差の平均(絶対値)		0.45		0.33		0.30	
E	No. 1	36.4	36.6	0.2	36.4	0.0	36.4	0.0
	No. 2	36.2	36.3	0.1	36.5	0.3	36.5	0.3
	No. 4	36.9	37.0	0.1	36.7	-0.2	36.7	-0.2
	No. 6	36.1	36.8	0.7	36.5	0.4	36.5	0.4
	No. 7	36.3	36.8	0.5	36.6	0.3	36.5	0.2
	No. 8	36.2	36.9	0.7	36.8	0.6	36.8	0.6
	差の平均(絶対値)		0.38		0.30		0.28	

別表 7 使用評価結果

対象品	項目	個別判定						評価※ (点)	コメント
		①	②	③	④	⑤	⑥		
A	本体の持ちやすさ(重さ、形状)	5	5	3	4	4	5	87	・握りやすい ・裏側に電源ボタンとモードボタンが並んでいるので、測定中に誤操作しやすい ・表示画面が大きくて見やすい
	ボタン操作のしやすさ(配置、大きさ、操作音)	2	4	2	2	2	4	53	
	連続測定のしやすさ	5	5	3	5	2	5	83	
	電池交換のしやすさ	5	5	2	3	3	5	77	
	説明書の分かりやすさ	4	5	4	5	4	5	90	
	表示の見やすさ(液晶の文字やマーク)	5	5	5	5	4	5	97	
	外箱の表示の分かりやすさ	3	4	5	3	4	4	77	
	総合評価	4	4	3	3	4	4	73	
B	本体の持ちやすさ(重さ、形状)	3	5	1	2	3	5	63	・形状が丸みを帯びていて、小さい ・ブザー音が小さい ・説明書が分かりやすい
	ボタン操作のしやすさ(配置、大きさ、操作音)	2	5	1	3	3	5	63	
	連続測定のしやすさ	5	5	3	5	4	5	90	
	電池交換のしやすさ	3	5	1	2	1	5	57	
	説明書の分かりやすさ	4	5	5	5	5	5	97	
	表示の見やすさ(液晶の文字やマーク)	2	5	3	3	3	5	70	
	外箱の表示の分かりやすさ	5	4	5	4	5	5	93	
	総合評価	4	5	1	2	3	5	67	
C	本体の持ちやすさ(重さ、形状)	5	5	4	5	4	5	93	・操作が簡単で使いやすい ・表示画面が大きくて見やすい ・寒い環境では使用できない点は不便
	ボタン操作のしやすさ(配置、大きさ、操作音)	5	5	5	4	4	5	93	
	連続測定のしやすさ	5	5	5	5	3	5	93	
	電池交換のしやすさ	5	5	5	5	4	5	97	
	説明書の分かりやすさ	5	5	3	5	3	5	87	
	表示の見やすさ(液晶の文字やマーク)	5	5	3	4	3	5	83	
	外箱の表示の分かりやすさ	5	5	5	4	5	5	97	
	総合評価	5	5	5	5	4	5	97	
D	本体の持ちやすさ(重さ、形状)	5	5	3	5	3	5	87	・電源をオフにできず常時オンなので電池がもったいなく思う ・価格が高い ・形状は持ちやすい
	ボタン操作のしやすさ(配置、大きさ、操作音)	4	3	4	4	3	4	73	
	連続測定のしやすさ	5	4	2	5	2	4	73	
	電池交換のしやすさ	3	2	1	2	1	3	40	
	説明書の分かりやすさ	5	3	4	5	3	4	80	
	表示の見やすさ(液晶の文字やマーク)	3	2	5	4	4	4	73	
	外箱の表示の分かりやすさ	2	3	2	3	2	3	50	
	総合評価	4	3	3	3	3	3	63	
E	本体の持ちやすさ(重さ、形状)	4	4	4	4	4	5	83	・温度別に表示画面の背景色が変わるので分かりやすい ・形状が大きくて、ガンタイプなので持ちやすい ・外箱の表示が英語のみという点は不便
	ボタン操作のしやすさ(配置、大きさ、操作音)	5	4	3	4	3	4	77	
	連続測定のしやすさ	5	5	4	5	4	5	93	
	電池交換のしやすさ	5	4	4	5	4	4	97	
	説明書の分かりやすさ	4	4	1	5	2	4	67	
	表示の見やすさ(液晶の文字やマーク)	5	5	4	4	4	5	90	
	外箱の表示の分かりやすさ	3	3	1	3	1	3	47	
	総合評価	4	4	4	3	4	4	77	

※評価は、個別判定の平均値を100点満点に換算した。